

「みんなで描く未来のタウンセンター広場」

ナレーション

【00:00 オープニング】

豊かな緑に包まれ、多くの家族が時を重ねてきた洛西ニュータウン。
今、タウンセンターエリアの公共空間が新しい段階へと進んでいます。
これまで大切に使われてきた場所を、今の暮らしに合わせてより使いやすく、より心地よく整えていく。
洛西らしい「新しい日常」へのアップデートが始まっています。

【00:34 RAKUSAI Pub. Lab.（洛西パブラボ）の概要】

これからの洛西の暮らしを、より豊かにするための試み。
その中心にあるのが、「RAKUSAI Pub. Lab.（洛西パブラボ）」です。
これは、地域住民の皆さんや地域に関心を持つ方々が、洛西の公共空間を活用した活動を行い、理想の暮らし方の実現を目指す市民協働のまちづくりプロジェクトです。
10年後の将来像を描いたランドデザインの実現に向け、自分たちの手で公共空間の新しい使い方を見つけていくための活動を続けています。
「この場所で、こんな活動をしてみたい」
住民や学生、行政が一緒になって、洛西のまちに眠るたくさんの「可能性」を掘り起こしています。

【01:29 社会実験「RAKUSAI Pub. Lab. PLAY!」の様子】

2024年度から始まったパブラボの第一歩は、小畑川中央公園等を舞台にした『パブラボ Play!』。
パーゴラ広場や小畑川の河川敷などの公共空間を活かした、様々な取組が行われました。

【01:50 社会実験「RAKUSAI Pub. Lab. DAYS!」の様子】

そして、2025年10月に行われた『パブラボ Days!』。日常に根差した取組をテーマに、3日間にわたって開催されました。
取組の1つに、子供たちが主役となって、広場の新しい使い方を実際に試してみる活動も行われました。子どもたちの自由な発想も、まちを「自分たちの居場所」として使いこなすための、大切なヒントになっています。

【02:45 タウンセンター広場等の再整備】

こうしたパブラボでの経験は、タウンセンターエリアの再整備計画にも息づいています。

【02:53 社会実験「みらいの広場」の様子】

この再整備の基本設計を進める中で、昨年11月15日、タウンセンター広場の再整備に向けた社会実験『みらいの広場』が開かれました。

パブラボ参加者からも声が上がっていた、遊具や小畑川を眺められるカウンターを実際に設置して、来場者の皆さんが体験するコーナーが設けられました。

ふだんは休憩や通り道に、そしてイベントの日は、レイアウトを変えて広く使える広場。ウッドデッキ、日差しや雨をしのげる休憩スペースも想定されています。

石積みの高台を活かした場所には、小畑川の景色を楽しめるカウンターがイメージされています。

年齢や障害の有無にかかわらず楽しめる“インクルーシブ遊具”も検討されています。社会実験の日は、子どもたちが実際に遊具で遊び、アンケートにて声も集められました。将来の“タウンセンター広場周辺”を、どう使いたいのか。“未来の広場の姿”をみんなで語り合いました。

【04:12 再整備のイメージ】

完成のイメージも、こうして少しずつ見えてきています。

川沿いで景色を楽しむ人。

芝生でくつろぐ家族。

遊具で遊ぶ子どもたちの声。

そして、そこに集まったみんなの「こうだったらいいな」。

日常の居場所にも、地域のチャレンジの舞台にも――。

“いつもの広場”が、“まちの真ん中の居場所”へ。

地域の皆様の御意見や洛西パブラボの活動で得られた知見をもとに、洛西タウンセンターエリアの公共空間再整備は、2028年度頃の完成を目指し、その工程を進めています。